

配管補修・防水工事

配管補修・更新であれば20-40年ごと、防水工事であれば10-20年ごとの工事スパン。
コストが最もかかる工事類にも関わらず、コスト適正化が図れていないのが実情です。
建物運用者様の目的、建物の状況に応じた最適な工事提案とともにコスト適正化を図ります。

東京都推進の受水槽撤去及び直結化工事の相談もお受けしています！

東京都の場合は水道局が増径工事費を負担して工事を行ってくれますが、今後予算が付かなくなることも考えられますので、直結化をご検討の際は早めの申請をお勧めします。

1 配管保全・防水工事

排水管や防水工事などは、日常的なメンテナンスが不要な代わりに、漏水事故などが起きてからの対処となると時間、費用、人間関係に非常に難しい問題が生じる為、計画的な修繕、更新をお勧めしております。



2 ご検討から導入の流れ



3 配管保全・防水工事費について

- ・熟練工により選定された工法により、無駄な作業、部材、工期をかけず短期集中で行える為、コストを抑えられます。
- ・長期的な観点でトータルコストを最小限で抑えられるようご提案します。

